

市職員1,400人を動員し市内を点検。 危険な箇所では工事や修繕を実施。

今年度の水害危険箇所総点検では、局所的な集中豪雨により急激に水位が上昇する中小河川を中心に、氾濫を未然に防ぐための点検を行います。5月中旬から約2か月間で延べ1,460人の市職員を動員し、河川150本をはじめ、水門や用排水路などで実施します。

また、過去に住宅への浸水被害や道路冠水による交通障害などを引き起こした、まちなかの用排水路の点検も実施。必要に応じて地元区長への聞き取りを行います。対策が必要な箇所については、県などの河川管理者とも協議しながら、改修工事や障害物の撤去などを順次行っていきます。

点検1 河川

河川の点検では、土砂の堆積状況や樹木などの障害物の有無を確認します。総点検に先立ち、市長は寺尾町の雁行川を視察。担当者や地元住民から過去に起きた災害などの説明を受けました。近所に住む人からは「雨が降ると道路ぎりぎりまで水が上がってきて、怖くて夜も寝られない」などの話がありました。同河川は県が管理する河川ですが、危険性が高いと認められた箇所は、県と協議して対応を要望していきます。



点検2 水路・水門



▲障害物が多く危険性が高い箇所では、撤去作業を実施



増水時に正常に作動するかを点検

市街地の用排水路では、水路や水門の状態を現地で確認する他、必要に応じて過去に被害のあった地域の区長への聞き取りを行います。水路内に雑草や堆積物があるなど、危険性が高いと認められた場合は、撤去や修繕を行います。



水路内の障害物や設備の摩耗の有無を確認



水害危険箇所総点検

土砂災害、洪水・浸水などの水害に備える

市は、長雨や集中豪雨、大規模地震などによる災害に備えるため、平成26年から「危険箇所総点検」を行っています。これまでの総点検では、河川や水路、倒壊の恐れがある木造住宅など、危険性の高い場所を点検。修繕など必要な対策を講じる他、県が管理する河川などについては、県と協力して対応してきました。5回目となる今回は、集中豪雨などによる被害を想定した、水害危険箇所総点検を行います。今回号では、今年度行う点検の概要と、これまでの成果についてお知らせします。問い合わせは、防災安全課（☎321・1352）へ。

榛名白川→工事後



▲対策工事实施後は河床の雑木が撤去され、水の流れが確保された

河床部分に土砂が堆積し、雑木が生い茂っていた▶
榛名白川の原山橋付近（箕郷町原山）の様子

榛名白川→工事前



井野川→工事後



元島名町周辺では堤防がかさ上げされ
舗装も施された

▲井野川では河床に堆積した土砂などが取り除かれた他、堤防のかさ上げ工事も段階的に実施

河床に堆積した土砂に雑草が広範囲に生い茂って▶
いる井野川岩滝大橋付近（綿貫町内）の様子

井野川→工事前



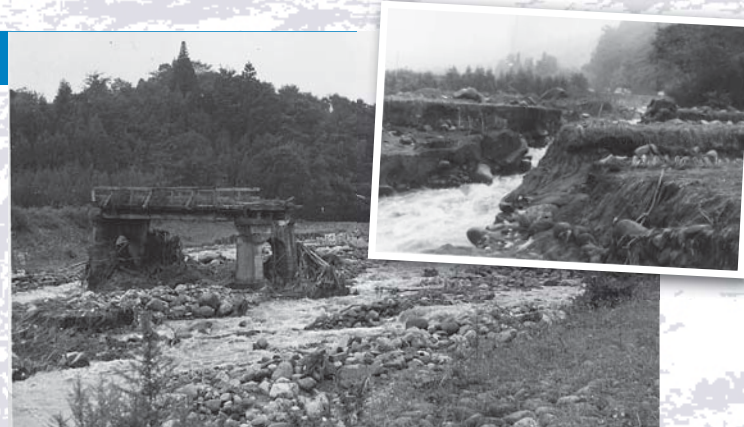
■ 地元の区長さんに聞きました



箕郷町原山区長

清水 伝次郎さん

私が小学生のときに、原山橋は鉄砲水で流されてしまったことがあります。最近では川の中に木がたくさん生えていて、もし雨が連続して降ったらどうなるか心配でした。川の流れをせき止める障害物が無くなったので、安心して生活できます。私たちでは川の中での伐採などができなかったもので、ありがたいですね。



昭和41年9月、榛名山南面に激しい雷雨があり榛名白川が急激に増水。箕郷地域では鉄砲水により死傷者13人、家屋流出11棟、橋梁流出19本などの甚大な被害があった

危険箇所総点検の開始以来、4年間で400箇所の対策を実施。現在も大規模な対策工事が進行中。

市 は平成26年度以降、毎年危険箇所の総点検を実施しています。これまでの4年間で、およそ400箇所の改修工事や障害物の撤去などの災害対策を行ってきました。対策が必要な箇所が、県の管理する

河川などの場合には、改善を要望するなど、県と協力して対応しています。中でも現在、大規模な災害対策工事が行われている井野川と榛名白川の工事の様子を紹介します。